

# 北九州市開催 <焼うどんラウンド> R6.11.2 オンライン開催

## 九州体育・保健体育ネットワーク研究会

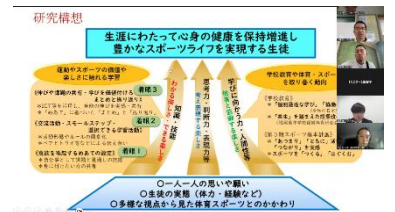
秋深まる時期に、災害級の大雨の影響で対面開催予定を急遽オンライン開催として実施しました。コロナ時期以来の ALL オンラインということで残念でもあるとともに、現在、行動制限なく生活できていることに改めて有難さを感じたところです。参加者は、北九州市内だけではなく、全国各地から参加いただき、大学生も含めて総勢20名が集まりました。



研修会も実践発表やワークショップは大変充実したものになりました。また、佐藤先生、本多先生、日野先生の厚く・熱い貴重なお話を聞くことができました。ワークショップでは、「指導と評価の一体化を実現する単元構造図の作成」をテーマとし、地域、校種、経験年数の垣根を越えて交流を深めることができました。

### 1 第44回福岡県中学校保健体育研究発表会京築大会報告

11月1日(金)に豊前市立八屋中学校で行われた、第44回福岡県中学校保健体育研究発表会京築大会の実践報告として「生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む保健体育科学習～運動やスポーツの価値や楽しさに触れる学習活動の工夫を通して～」というテーマでお話をいただきました。



生涯にわたって運動に親しむことができるよう、「意欲を喚起させるためのめあての設定」「交流活動生かしながらスモールステップで行う学習活動の工夫」「事故の伸びや課題を共有し、学びを価値づけるまとめと振り返り」の3つの柱で授業を構成していました。運動好きな子どもたちを育成しようという狙い通り、楽しく活動している様子が報告の中から感じ取ることができました。そして、その授業の価値づけを愛媛大学の日野先生にいただきました。日野先生からは、これからは、アクティブラーニングではなく、能動的な学び手(アクティブラーナー)の育成そのための学習スタイルを確立すること。そのためには、やはり「体育の授業は楽しい」と思わせる生徒を育成する必要があるということについてご教示を頂きました。

#### 保健体育科の授業づくり



「体育の授業は楽しい」

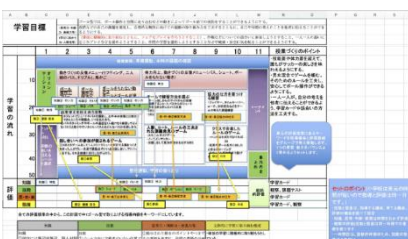
と思う子どもを増やすことが重要!

楽しさを教えるのではなく、  
環境を整えて子供が実感する

### 2 指導と評価の一体化を目指した単元構造図の作成

初めに、福岡教育大学の本多先生からは、体育の授業における学習評価の考え方・進め方について情報提供がありました。技能や主体的に学習に取り組む態度については、すぐに身につくものではないため、学習した時間に即時評価ではなく、時間をずらして評価し指導に反映させること。また、A評価とB評価の違いや、アクティブラーナーである生徒と評価を共有しながら行うことについてもご示唆くださいました。

続いて、ワークショップでは、4つのグループに分かれ、中学1年の球技(ゴール型)についてどのタイミングで教え、評価するかについて協議しました。同じ学年・領域・単元であるにも関わらず同じ考え方のものは無く、非常に興味深かったです。参加者からは、評価項目を多くすると慌ただしい単元構成になるので、じっくりと学習を進めていくためには、項目を絞って行うことが必要であること。そして、ゴール型であれば、1・2年の2年間を見通して、バランスよく行う必要があるというという感想ができました。評価について深く学ぶことができた有意義な時間でした。



九州体育・保健体育ネットワーク研究会  
北九州焼うどんラウンド

情報提供

令和5・6年度 福岡県体育研究所調査研究事業

体育の授業における  
学習評価の考え方・進め方

+

福岡教育大学 教職大学院 本多社太郎  
R6.11.2(土) 於 北九州市立西小倉小学校